

## 令和6年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	③	学校名	奈良養護学校
----	---	-----	--------

### 1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	「社会参加学習」での地域作り実習を通して学ぶ
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	「総合的な探究の時間」及び「自立活動」に位置づけ、一人ひとりがよりよく生きていけるために豊かな社会性を育み、自らの特性を生かした生活を設計するための力を養う。
連携・協働相手	ヘルマンハーブ振興会
地域と共有している目標・課題等	地域社会でともに生きるという観点にたち、交流の機会をもつ。本校の生徒については、文化に触れ、コミュニケーション力、集団活動に主体的に参加する力を養うことを目標や課題とする。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
<p>11月12日（火）にヘルマンハーブ振興会さんを奈良養護学校にお招きし、音楽鑑賞や楽器の演奏体験などの交流活動を行った。体育館で感染対策をとりながら実施した。演奏会では生徒たちのなじみのある曲も取り入れながら演奏をしていただいた。</p> <p>事前の取組として、本校の生徒たちの実態や学校の様子、生徒たちのなじみのある曲を演奏者の方に伝えることにより本校の啓発をはかることができた。また、演奏会当日は、生徒たちもヘルマンハーブに触れたり、音を出したりすることで、演奏者を身近に感じることができた。演奏会終了後、生徒たちは授業で作成したプレゼントをお礼としてヘルマンハーブ振興会さんに贈ることができた。</p>	

### 2. 事業の成果と課題

<p>ヘルマンハーブ振興会さんの演奏曲目に生徒たちがなじみのある歌などを入れていただいたことなどにより、演奏会当日、生徒たちは興味をもちながら演奏を鑑賞することができた。ヘルマンハーブに触れたり音を出したりすることができたことを喜ぶ生徒たちも多かった。来年度以降も関係を大切にしながら演奏会を実施したいと考えている。本校の生徒たちの実態を考慮し、今年度についてもヘルマンハーブ振興会さんには感染症対策を丁寧にさせていただきながら演奏会を実施していただいた。来年度以降についても演奏会を継続していくとともに、個々の生徒たちが演奏者の方との交流の機会がさらにもてるように内容の検討をさらに重ねながら実施していきたい。</p>
--

